

編集者のことば

本号は、本研究所の共同研究2「大都市の環境と地域社会に関する総合的研究」の一環としてまとめられた7編の論文を中心に「都市の環境問題」と題する特集号を組み、併せて投稿論文2編から構成することとした。

まず前半の7編の論文は、都市の環境と交通問題に関するものである。落合正宏他「実験室環境におけるVOC（揮発性化学物質）濃度」は、室内空気中のVOCの累積的測定結果が得られる簡易な測定法を開発し、その測定結果にもとづき、研究者は実験室でかなりのVOC汚染を受けている可能性を指摘した。小椋和子「オランダの水管理政策分析システムを応用した既存河口堰の評価—長良川および利根川—」は、オランダで開発された合理的な水管理事業の政策分析システムとその内容を紹介するとともに、このシステムを応用して、わが国の既存河口堰事業を、とくに長良川河口堰を中心に検証を試みたものである。小泉明他「都市ごみ量のシステムダイナミクスモデル」は、要因間の非線形な関係を記述可能なシステムダイナミクスモデルを用いて、ごみ発生システムを同定するとともに、シナリオ分析を行うことにより、社会・経済の変化とリサイクル進展の両面から将来のごみ発生量の不確実性を把握しようとしたものである。

高野ゆかり他「港北ニュータウンにおける自然愛護活動とその参加者の自然観」は、横浜の港北ニュータウンの新住民による「港北ニュータウン緑の会」を中心とした自然環境保全活動を紹介するとともに、この活動に参加している会員たちの自然観をアンケートのデータをもとに分析し、それが「視覚とそれ以外の五感の対照性」、「受動的（鑑賞的）関わり方と能動的（接触的）関わり方の対照性」および「日常と非日常の対照性」の三つの次元から明らかにした。木村富美子他「産業連関表による産業廃棄物の分析—最終処分量を中心として—」は、産業連関表を利用して産業廃棄物の種類別産業別動向の分析を試みたもので、推計で求めた産業別種類別排出量序列と種類別の最終処分率から産業種類別の最終処分量を求めるとともに、種類別の最終処分率削減の効果を検討した。田中平八「樹木パターンに対する好悪感と分類の試み—樹木イメージの探索的研究—」は、全ての樹木イメージが景観の好感度に必ずしも有効に貢献するとは限らないとの前提から、樹木イメージが与える心的効果を探る実験を、シルエットによる100種の樹木パターンを用い、好きから嫌いまでの5段階尺度で評定する方法で行い、葉形がシルエットに反映されていて端整な樹形を示しているものが好まれ、樹木全体の輪郭や枝葉などに特徴がないものが評価が低いなどの結果を得た。また、樹木イメージでは10分類で比較的簡潔に記述できることが明らかにされた。

中條覚他「都市部における深夜以外の乗合タクシーの利用意向について」は、深夜運行されている既存乗合タクシーの利用者及び非利用者を対象に運行頻度の満足度を分析するとともに、都市部で乗合タクシーを深夜以外の時間帯に運行する際の様々な運行条件による利用意向を検討した。

ついで、住宅問題に関する2編の投稿論文を掲載した。倉橋透「宅地並み課税の軽減措置が貸家建設に及ぼした影響—資本コストによる分析—」は、埼玉・千葉及び神奈川の3県で住宅金融公庫の融資を受け、農地を転用して貸家を建設した者を対象に、貸家の資本コストの変化を計測することにより、貸家建設に対する固定資産税の宅地並み課税の軽減措置の資本コストに対する影響を検討した。宋偉国他「中国の住宅市場」は、中国の非常に安価な配給住宅と一般市場住宅という二重構造のもとにある住宅市場の現状を統計資料をもとに明らかにするとともに、住宅市場に関する文献内容を紹介し、中国の住宅市場の捉えられ方と今後の住宅市場のあり方について論じたものである。